

だんだん

座間市・相模原市南区にてサービスを提供しています

2021年12月 VOL.3/偶数月発行

相武台病院訪問看護ステーション

ありのままを受け入れる

冬に向かう季節になると、いつもある親子のことを思い出します。義父が認知症になり、旧家に囲まれたところでお嫁さんはたいへん世間体を気にして、義父の行動一つ一つ否定し、時には怒鳴ってしまうこともありました。そんな中肺炎に気が付くことができず、重症化してはじめてわかりました。

退院後、体調管理で訪問が始まりましたが、義父は部屋で放尿したり、急に部屋を飛び出したりと目が離せず、お嫁さんはどのように接していいか困っていました。また肺炎に気が付いてあげられなかったことを、たいへん後悔されていました。義父は優しい方でかわいがっていただきお嫁さんは大好きでした。義父に変わっていただきたかったら、まずありのままを受け入れて、お嫁さんが変わっていくことが大切だと思うとお話させていただきました。

その日からお嫁さんはいっさい怒らなくなり、すべてを受け入れました。ある日デイサービスの方が迎えに来た時、義父は肌着を一番上に着ていました。着がえなくてはと言われましたが、義父が着てくれたのでそのままいいんですと、お嫁さんが言ったそうです。職員の方がポカンという顔をしていたのよと、笑いながらお嫁さんが話してくれました。

それから間もなく義父の行動が変わってきました。部屋から食器を運んできて『ごちそう様。おいしかったよ。』と言ってくれたそうです。問題行動がほとんどなくなり、お嫁さんへの感謝の言語が多くなったと涙ながらに話してくれました。私が訪問すると座布団を出して下さるようになりました。

すばらしい体験をさせていただきました。ありのままを受け入れることは大変難しいことです。やりきったお嫁さんのすばらしさに感動しました。接し方一つで認知症は乗り越えられると実感させていただきました。

寒い冬が来たのに、心がぼかぼかな温かさに包まれた冬でした。

看護師 棚網 陽子



● 相武台病院訪問看護ステーション

〒252-0011 神奈川県座間市相武台1-8-23
相武台病院在宅センター

事業所番号 1464190138

24時間対応

営業時間 平日9:00～17:30

TEL:046-240-9677 FAX:046-240-9679

